杉八団報

第 391 号　　[2015 年 9 月 10 日 発行]

日本ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区 杉並第八団　－団報－
登録 No.15-14-01-008
[本部] 東京都杉並区本天沼 1-27-16
竹之内　實
[mail]　takesan@muj.biglobe.ne.jp
[ＨＰ]　http://www.sugi8.org/

2015 夏キャンプ＆世界ジャンボリー　特集

<ビーバー隊>活動報告

8 月 22 日（土）　『デイキャンプ 2015』　　小金井公園
参加スカウト：　松下、福村、見学参加者

本年度のビーバー隊活動の総仕上げ 「デイキャンプ 2015」を楽しみました。

当日は記録的な猛暑日から、夏の終わりを感じる過ごしやすい天候のもと小金井公園ユーカリ広場の木陰に設営、開会セレモニーからスタート。午前のプログラムでは 「おもしろサンドイッチ&デザート作り」に挑戦、ゆで卵のカラをむいたり、レタスを洗ったり、フルーツポンチを作ったり、お手伝いをしました。完成後は、何度も、何種類も 「おもしろサンドイッチ&デザート」を美味しく、お腹いっぱい、頂きました。

午後のプログラムでは、親子真剣勝負の「しっぽとり」を楽しんだり、「スイカ割り」を楽しんだり、最後に団委員長差入れの「アイス」を美味しく頂き、夏の自然を楽しく美味しく満喫した、思い出に残る一日となりました。最後にご奉仕いただきました、団関係者、保護者のみなさまに心より感謝申し上げます。

おもしろサンドイッチ＆デザート作り

恒例のスイカ割り！甘くておいしかった！！

しっぽとりに燃えました

ビーバー隊　９月の活動予定

13 日　カントリー大作戦＆ビックビーバー追い出し
　　あんさんぶる荻窪
27 日　上進入隊式　　荻窪地域区民センター

<カブ隊>活動報告

夏キャンプ　　日程：8/6(木)～9(日)　3 泊 4 日　　場所：長野県　高遠青少年自然の家
参加スカウト：鈴木、茂山、松岡、三枝(ま)、三枝(は)、斉藤、坂下 及び 6 団スカウト　計 22 名
参加リーダー他　15 名　参加者総勢 37 名

8/6(木)　1 日目　晴れ　夜は雷雨
貸し切りバスで出発：車内でなぞなぞ大会、トンネルの数あて、到着時間予想など、ソングもやりました。途中八ヶ岳ＰＡで休憩と記念撮影
開営式：このキャンプでのミッションは、たくさん良いことをして高遠の神様のパワーを集めること。首にかけたお守りにストーンをたくさんゲットしよう！

八ヶ岳ＰＡにて

<カブ隊>

組ごとにカブ弁とキャンプ場散策、パチンコ作りの材料を探したりかえるを捕まえたり・・・
組集会を開き、組の名前を決めて旗づくり１組：YDK、２組：ペガサス国、３組：３デン！
キャンプ場の夕べの集いに参加：国旗降納とゲーム、この頃からゴロゴロと雷が鳴り始める。入浴と夕食後、雷雨のため室内で夜話と 23WSJ のお話会
8/7(金)　２日目　晴れ
キャンプ場の朝の集いに参加　国旗掲揚と英語版ラジオ体操
朝食後点検、モーニングゲーム（帽子リレー）
セレモニー：パワーストーンの授与
ハイキング出発：行き先は千代田湖、宝島で宝探し
野外料理：鉄板でバーベキューとお釜でご飯炊き。まいう～～～！?!
勇者の証：暗い道を歩き、おふだをとってゴール。ところどころで絶叫が・・・
星の観察：夏の大三角形（ベガ、デネブ、アルタイル）と天の川を確認
8/8(土)　３日目　晴れ
キャンプ場の朝の集いに参加　国旗掲揚と英語版ラジオ体操
朝食後点検、モーニングゲーム（またまた帽子リレー）、セレモニー：パワーストーンの授与
そばうち体験：粉を量って練って延ばして切ってゆでて、はい出来上がり。おつゆにつけていっただきま～す！
水着に着替えて水鉄砲合戦～すいか割りおやつはもちろんすいか食べ放題！
夕食と入浴後、今年は雨の心配もなくキャンプファイヤ開始。桃太郎、金太郎、浦島太郎の三太郎物語のスタンツを披露。
8/9(日)　４日目　晴れ
キャンプ場の朝の集いに参加　国旗掲揚と英語版ラジオ体操
朝食後撤営及び清掃点検、朝のセレモニー
工作：１日目に探したＹ型の枝を削ってゴムをつけてパチンコを作り。さっそく的当てをして遊びました。
閉営式：：パワーストーンの授与、優秀スカウト表彰、隊長賞表彰の後、最優秀組の発表は１組！！！
４日間お世話になったキャンプ場に感謝のエール：キャンプ場ありがとうウォウォウォ～！バスの中で昼食を済ませるとみんな爆睡、渋滞で予定より１時間遅れの午後６時に全員無事に帰ってまいりました。
公園で解散式、保護者の方が待つ中、みんな、おうちの人にたくさんお話ができるね。
仲良しの輪をして解散しました。「〇〇デンいつもゲ～ン～キ！！！」

開営式

ハイキング最高！

宝島で宝探し

野外料理　鉄板！

蕎麦打ち

水鉄砲合戦

枝でパチンコ作り

8/30(日)「くま集会」　場所：町会会議室
参加スカウト：鈴木及び６団細川

カブ隊　９月の活動予定
6(日)　「カントリー大作戦」
20(日)　「くま追い出し」
20(日)～21(月)　「くまキャンプ」
27(日)　上進入隊式

ロッジ前で

最優秀組は１組！

<ボーイ隊>　活動報告

7 月 26 日（日）～8 月 9 日（日）**第 23 回世界ジャンボリー　於、山口県きらら浜**
参加した 4 名のスカウト及び隊長の感想文は下記の通り。

島津：
まずぼくのなかで印象に残っていることはアリーナショーです。その理由は、単純にジャンボリーのプログラムの中で、生まれて初めて声ががらがらになるぐらい楽しかったからです。そして日本ジャンボリーではあまりできなかった、外国人との交流もそこで達成することができました。さらに、自分たち日本のスカウトが盛り上がっている中で外国人が来て、肩を組んで踊ったりと世界のスカウト約三万人がひとつになったなとも同時に思いました。
　ジャンボリーに行く前は『ただ楽しかった』になってしまうのかと心配でしたが外国の文化や日本との違いなどを学べ、これからの人生に役立てていこうとこの大会を通じて思いました。

塩澤：
僕がこのジャンボリーで特に感じた事は普段の生活のありがたさです。
普段の生活では冷房や、きれいなトイレがあるのが当たり前ですが、14 日間も外でキャンプ生活すると、当たり前と思っていた家での生活のありがたみを感じました。これからは物の無駄遣いを少しでも減らそうと心がけます。
世界の国々とのスカウト交流ではなかなか英語伝わらず、身振り手振りでも伝わらず、英語が通じる班長や同じ班の人に頼ってしまった。次回僕が世界ジャンボリーに行く時は高校生なので今から英語をもっと頑張ろうと思いました。

澤田：
自分は、１４日間第２３回ワールドスカウトジャンボリー(以下 WSJ)に、行ってきました。そこで学んだことや気付いたことを紹介します。
まず、学んだことです。一つは、海外の人はなんとなく優しくどこかおおらかで、日本人とは違った考えかたがあると思いました。これは自分だけの思い込みかも知れないですが、やはりなんとなくそう思えるのです。
気付いたことといえば、外国人と比べて日本人は背が小さい、寒がりなどです。
とにかく、WSJ は、気付いたことや楽しいことが多かったのでまた行きたいと思います。（ただしテントには施錠を…）

馬目：
今回のジャンボリーで、僕はたくさんの外国隊と交流することを目標に活動していた。英語のみで外国人と話すという貴重な機会だったからである。最初は、自分の英語力で伝わるのかという気持ちから、自分から声をかけなかった。しかし、これではせっかくの機会がもったいないと思い、積極的に声をかけた。すると思っていた以上に相手は理解してくれるのだ。もちろん伝わらないこともある。だが相手も理解しようとしてくれる。そこで理解してくれた時の相手の顔は忘れられない。このようにジャンボリーでは普段できない貴重な経験ができて良かった。
ホームステイでは、ジャンボリーで覚えたことを存分に発揮したいと思い、積極的に声をかけた。このおかげで観光中も日常生活も楽しかった。

儘田隊長：
スカウト到着前に現地入りし、最終日まで IST として奉仕。今回は本部の安全対策室に割り振られ、WOSM（世界スカウト機構）から派遣されたメンバー12-15 人（国籍はスウェーデン、英国、米国、フィリピン、香港）と共に安全対策、危機管理を行った。世界ジャンボリーの運営は日本連盟ではなく、WOSM が主体であることが今回具体的に理解出来た。
連日の猛暑とシフトにより徹夜もあり、自身の健康管理が重要であった。仕事については、熱中症が多発、救急車が出払ってしまう事態さえ出現。行方不明のスカウト捜索，　現金盗難、夜中のトイレ溢れ、等々兎に角電話対応や対策など多忙であった。忙中閑ありで、6 団、8 団の参加スカウトのサイトも訪問。全員生き生きと活動しているのを見て安堵し、練馬・あすなろ隊、世田谷・あすなろ隊の各隊長にも御礼を申し上げた。

練馬・あすなろ隊の５人

8 団スカウト 4 名と 6 団佐野君

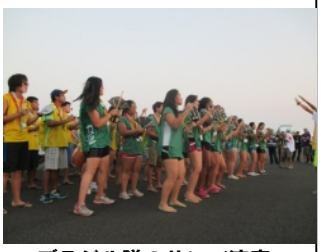
食事中の塩澤・馬目

世田谷・あすなろ隊の６団福光・井上

隊長の仕事仲間・・・全て英語

サイト入口でルクセンブルグの女子スカウトと

美しい夕焼け


ブラジル隊のサンバ演奏

<ボーイ隊>

８月２日（日）夏キャンプ準備

世界ジャンボリー参加スカウトが不在の為、少人数で夏キャンプの備品の点検をスカウトハウスで行った。人数が少ないため、スカウト同士が役割分担し協力しながら、炊具、工具、テント、タープを点検し、時間内に終わることが出来た。

８団参加スカウトは、豊島

８月 13 日（木）～16 日（日）　夏キャンプ　於、山梨県金峰山荘キャンプ場

キャンプ場は我々以外に一般キャンパーもいたが、大きくサイトを確保出来、活動には支障なく、連日の晴天もあり予定通りの活動を行った。今回、ジャンボリーの直後で中堅スカウトが何人か不参加であったが、その分他のスカウトが通常以上にやる気を出して、新たな技能習得を実践することが出来た。

今回全体にレベルが高く、各班長の「優秀班狙い」もあって、チームワークを含め高度な競争であった。優秀班はシルバーホークで赤松班長の強い「狙い」が功を奏した。中日に金峰山登山。新入スカウトも早いペースに遅れることなく予定通りの時間で下山出来た。

一夜 GBM にて「ボーイスカウトと世界平和」について討論。GB スカウトの的を射たレベルの高い意見に、彼らの「国際性」を実感し、頼もしさすら覚えた。これもジャンボリー効果と言えよう。　　８団参加スカウトは島津、塩澤、豊島。

８月 30 日（日）練馬合同隊、解隊式：

13：15 より練馬生涯学習センターにて行われた。式の初めにご挨拶のスピーチが要請され、あすなろスカウトへの訓練・指導に対し御礼を申し上げた。

８月 30 日（日）くまスカウト集会：詳細省略。

キャンプ開始、全員勢揃い

広々としたサイト

冷たい水浴び

好評の BBQ 大会

張本副長の集合

赤松班長労作「マッチ入れ」

ボーイ隊９月の　予定

12・13 日：6 団荻窪八幡かがり火奉仕 17:00～
13 日：GBM/PM〔年プロ作成〕、保護者会
20・21 日：くまキャンプ（地蔵山）
26 日：松庵小ワイワイキャンプ奉仕
27 日：8 団上進入隊式 13：30～

金峰山頂上にて

閉村式　国旗降納

第23回世界スカウトジャンボリーに参加して

杉並8団カブ隊隊長　大島正和

2015年7月28日（火）～8月8日（土）12日間にわたり、山口県山口市阿知須（あじす）きらら浜(南北3km、東西1km)にて、150カ国34,000人（日本人6,000人、外国人28,000人）が参加して開催されました。

外国人のほうが多いのでまるで外国に来たような感じを受けました。

世界スカウトジャンボリーは第1回1920年イギリス、第13回1971年日本・静岡県朝霧高原、前回の第22回は2011年スウェーデンで開催されました。

日本では44年ぶり2回目の開催になります。

私は7月28日～8月2日（5泊6日）IST（インターナショナルサービスチーム）として部分参加しました。

役務はトランスポートで主に人と車両の安全のための誘導を行いました。

8団からはISTで儘田ボーイ隊長が全日程参加、安全と各種クレーム対応の役務についていました。

スカウトは澤田、塩沢、島津、馬目が参加、儘田隊長とテントサイトを訪れみんな元気な姿を確認しました。

山口宇部空港到着

8 団スカウトたちと

トランスポートの仲間たち

34,000人がテント生活のため広大な敷地に張られたテントは壮観で各国のテントサイトには国旗が揚げられ、入り口にはいろいろなデザインのゲートがスカウトたちによって作られていました。
各国のスカウトは隊列を組んで移動するとき班旗を掲げ元気よく歌いながら（中には楽器を鳴らしながら）行進する姿は見ていてとても気持ちのいいものでした。
さまざまなプログラム（サイエンス、ネイチャー、ウォーター、ピース等）が用意され、中でも広島ピースプログラムは1日4,000人が100台のバスに便乗し6日間で24,000人が広島原爆ドームと原爆記念館を訪れ、戦争の悲惨さを学ぶことを通じ世界平和について考えました。
我々ISTは二人用のドームテントでの生活です。仮設のシャワーとトイレが完備され食事はIST専用の巨大仮設テントの食堂で朝食（コーンフレーク等）夕食（カレーや肉料理等）が用意され、昼食はパンやバナナ、ジュースなどが配給されました。
とにかく広大な敷地のためテントから食堂へ行くだけでも1kmくらい歩くため3日目くらいから足の裏にまめができ痛さに耐えてのキャンプ生活でした。
また、ほとんど雨が降らず暑さが続き、とにかく水分補給を心がけました。
偶然にも食事中にベーデンパウエルの孫、マイケルベーデンパウエルを発見、握手と記念撮影ができたことは、とてもよい記念になりました。
今回世界ジャンボリーに参加することができてたいへんよい経験ができましたこと
団関係の皆様や家族に感謝、感謝、感謝！！！

儘田隊長　仕事中

各国のテントと国旗

プログラムに参加するスカウトたち

ＩＳＴ専用食堂

朝日が昇るテントサイト

マイケルベーデンパウエルと奥様と一緒に

<ローバー隊>　今後の予定　団、隊奉仕

〈団会議　〉
9/12（土）　19:00～21:00　荻窪地域区民センター第６集会室
BVS:篠田　CS:大島　BS:― VS: ― RS: 山中
団委員：竹之内、山村、山中(喜)、高木
次回
〈団委員会〉
9/26(土)　育成会総会終了後　荻窪地域区民センター第 1.2
〈団会議〉
10/3(土)19:00～21:00　荻窪地域区民センター　第６集会室

9/7(月)8(火)　白山神社清掃奉仕
雨にもかかわらず７日 13 名８日６名　合計 19 名の育成会員、リーダーにご奉仕いただきました。*感謝！！*

9/26(土)09:20　育成会総会　荻窪地域区民センター第１・２
9/27(日)13:30　上進・入隊式　荻窪地域区民センター第１・２
10/4（日）天沼集会所まつり　模擬店出店
10/17(土)　おもしろ縁日滑車奉仕　桃井第二小学校
親子で遊ぼう１日アウトドア体験
10/12(月)　13：00～15：00　善福寺川緑地公園
友情交歓会
11/3(火)　場所未定

＜東連　・地区＞
9/13(日)　ボーイスカウト講習会　西荻南区民集会所
9/18(金)　地区委員会　19:00　あんさんぶる荻窪
9/24(木)　地区協議会　19:00　西荻勤労福祉会館
10/1(木)　地区円卓　10/17(土)　中間登録

<ベンチャー隊>
今夏の篠田スカウトのプロジェクトは以下の目標・目的をもって8/28～8/30 の期間で実施した。

初日　山中湖を出発

目的:
自転車で延べ110km走行する
野営三章の習得、自転車章の習得
ベンチャープロジェクトの流れを把握する
目標:
自転車の整備・点検方法を学ぶ
長距離走行の技術を学ぶ
野営技術、炊事技術、野営管理技術の研究・習得・向上
個人キャンプのリスクマネジメントを学ぶ
移動経路の把握　報告書を提出する
内容:
山中湖を起点に富士山を時計回りに周回。
初日は田貫湖キャンプ場までのおよそ 60 ㌔を走破。
同地に 2 泊し、野営三章・自転車章の項目の実践、検証。
最終日は鳴沢村経由、山中湖へ 50 キロを走破。雨が強く、リタイヤも懸念されたが、篠田スカウトの適格な状況判断もあり無事に完走する事が出来た。

初日　順調に快走

写真　次ページに続く

<ベンチャー隊>

初日　田貫湖に到着

夕食準備

篠田スカウト設計のテントサイト（2 泊）

最終日　雨の中を出発

無事　山中湖ゴール

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。
Mail: takesan@muj.biglobe.ne.jp
団委員長　竹之内　實　　団報担当　高木　誠